

講義名	異文化理解			授業形態	
担当教員	中川 典子 / 新 雅史 / 寺口 敏生		開講期・曜日・時限	前期 水曜日 3時限	
	単位数	2	履修開始年次	1年生	ナンバリング・コード FRL110

主題と概要

当講義は、大学生活の初期段階での異文化経験により外国語や異文化理解の必要性に気づき、その後の学習に活かすことを目的としています。研修先はマレーシア（予定）です。多様な文化や歴史を体験するプログラムや、現地の学生との交流機会なども予定しています。自文化と異文化の関係性や差異に気づききっかけになればと考えています。
 なお、当授業は学外研修に参加する準備のための「事前研修」と「現地研修」の両方を含むものです。それら一連の活動に適切に参加し、さらに課題をこなして初めて単位が与えられることを認識した上での参加が必要となります。

到達目標

上に挙げた全ての活動を通して、次のことを目標とします。

1. 自力で飛行機搭乗ができるよう、空港での手続きなどの一連の流れを理解し、身につける。
2. 現地の人々との確信のあるコミュニケーションができるよう、英語や中国語による表現を身につける。
3. 異なる文化で暮らす人々の考え方や価値観を理解し、尊重する能力を養う。
4. 団体生活において自分を律する能力を養う。

提出課題

事前研修では、適宜課題を指示します。
 また、現地研修終了後に課題を提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

課題に対する解説は授業中に行います。

評価の基準

以下を総合的に評価します。

- (1) 事前研修への出席および活動内容、授業態度、提出物の評価（提出物は期限厳守）
- (2) 研修中の態度・活動内容・参加態度の評価
- (3) 研修終了後の課題の評価

上記(1)： (50%)
 上記(2)および(3)： (50%)

履修にあたっての注意・助言他

現地研修中は集団での活動となり、自分中心の行動は許されない場面が多くなります。集団生活においては「約束を守る」と「時間厳守」は鉄則です。事前研修の段階からルーズな態度（非協力的な授業態度、提出物の遅れ、等）が免責される受講生には、現地研修への参加を認めないことがあります。その場合は単位が認定されません。いずれも、参加者の安全を優先するための措置と理解してください。研修は単なる旅行とは異なり、不安な気持ち、遊び気分での参加は認められません。なお、研修には別途費用がかかります。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

授業計画

1. 事前研修（5回～6回）
 - ・ 将来のパスポート取得手続きを含めた出発準備
 - ・ 現地の人々とのコミュニケーションに必要な実践英語学習および中国語学習
 - ・ 異文化に関する知識の習得、など
2. 現地研修
3. 研修課題提出

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：
 指示された課題に取り組む。（2時間程度）

復習：
 事前研修や現地研修で得た学習内容について習熟を図る（2時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは海外でのフィールドワークに参加することにより、卒業後、グローバル社会に貢献できる人材として、異文化と多様性を理解し持続可能な社会を志向する専門性と知識を習得する。これらの能力は商学部生に求められる各業界の動向や商問題を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中にクラスメートとのコミュニケーションワークを実施する。

実務経験の有無及び活用

備考

【履修条件】

- ・ 提出書類を期日までに提出すること
- ・ 期限を過ぎても提出や未提出書類がある場合は、研修をキャンセルしてもらう場合がある。
- ・ 学内の健康診断を受けること。

* 事前研修への出席は必須です。出席が足りない場合は、現地研修に参加できません。前掲したように、このコースは海外現地での研修になるため、費用がかかることを理解したうえで登録してください。